



平成27年5月29日
内閣府（防災担当）

口永良部島の噴火に係る関係省庁災害対策会議の開催について

1. 日時：平成27年5月29日（金）11時00分～
2. 場所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室
3. 議題：
 - （1）山谷内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
 - （2）火山活動の状況
 - （3）各省庁の対応状況
 - （4）その他
4. 取材：会議は非公開。ただし、（1）のみカメラ撮りは可。
5. その他：記者ブリーフィングの実施
（会議終了後11：30目途）
（場所：中央合同庁舎第8号館1階 S101会見室）

<問い合わせ先>

【記者会見全般】

内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（総括担当）付 廣瀬、苫米地

TEL：03-3501-5408（直通）

【会議関係】

内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対応担当）付 熊澤、武山

TEL：03-3501-5695（直通）

口永良部島の噴火に係る関係省庁災害対策会議

議 事 次 第

日時：平成27年5月29日（金）11:00～

場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 山谷内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. テレビ会議（鹿児島県庁）
3. 今後の火山活動の見通し
4. 各省庁の対応状況
5. その他

火山名 口永良部島 噴火警報（居住地域）

平成27年5月29日10時07分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

（見出し）

<口永良部島に噴火警報（噴火警戒レベル5、避難）を発表>

対象とする居住地域では嚴重な警戒（避難等の対応）をしてください。

<噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引上げ>

（本文）

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新岳では、本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生しました。この噴火に伴い、火砕流が発生し、海岸まで達しました。

火砕流の到達が予想される屋久島町口永良部島居住地域では嚴重な警戒（避難等の対応）をしてください。

2. 対象市町村等

以下の市町村では、当該居住地域で避難などの嚴重な警戒をしてください。

鹿児島県：屋久島町

3. 防災上の警戒事項等

火砕流の流下が切迫している居住地域では、嚴重な警戒（避難等の対応）をしてください。

屋久島町の避難等の指示に従ってください。

<噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引上げ>

（参考：噴火警戒レベルの説明）

【レベル5（避難）】：危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル4（避難準備）】：警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。

【レベル3（入山規制）】：登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。

【レベル2（火口周辺規制）】：火口周辺への立入規制等。

【レベル1（平常）】：状況に応じて火口内への立入規制等。

(注：避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる)

なお、(平常)のキーワードについては、平成27年5月18日から(活火山であることに留意)に変更しました。システム改修により情報文に反映されるまでの間は、読み替えで対応いただきますようお願いいたします。

状況

- ① 昨年8月3日、噴火が発生したことから、噴火警戒レベル3(入山規制)を発表(警戒範囲:火口から2km)。以降、毎日火山活動の状況を地元自治体へ提供
- ② 本年3月24日以降、火映※を観測、そのため気象庁は観測班を常駐化 ※火映は赤熱した溶岩や高温のガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象
- ③ 5月23日、火山直下を震源とする震度3の地震を観測。地元火山防災連絡会が開催され、情報共有と防災対応の確認がなされるとともに、屋久島町の住民説明会において気象庁から活動状況を説明
- ④ その後現在まで、地震活動は低調な状態。震度1以上の地震も観測されていない。今後、震度1以上の地震が複数回発生した場合レベル4への引き上げを検討(地元自治体は、この場合、住民の避難を計画)

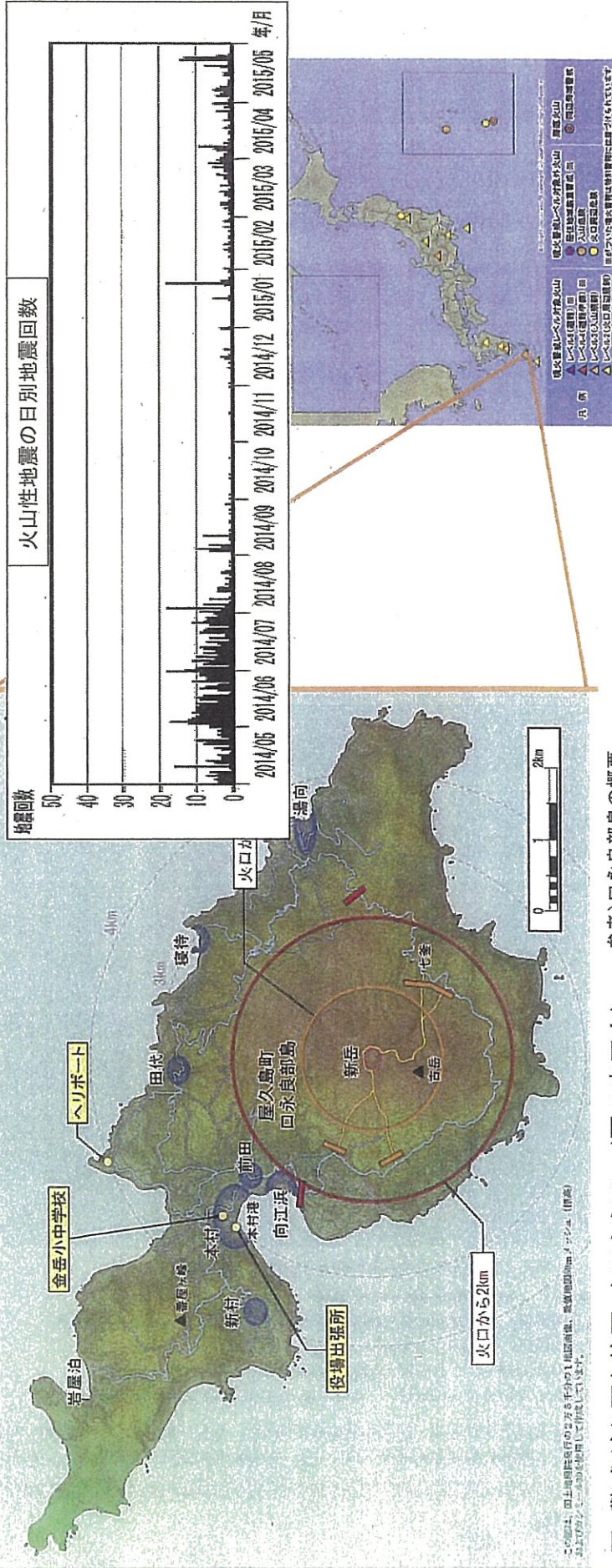


図 警戒が必要な範囲:火口から2km(図の赤円内)

参考)口永良部島の概要
 ○屋久島の西側に位置する離島
 ○約141名が島内に滞在(住民等135名、屋久島町職員4名、気象庁職員2名)
 ○居住地は、新岳の北西2km以遠に存在

口永良部島の噴火警戒レベル

— 火山災害から身を守るために —

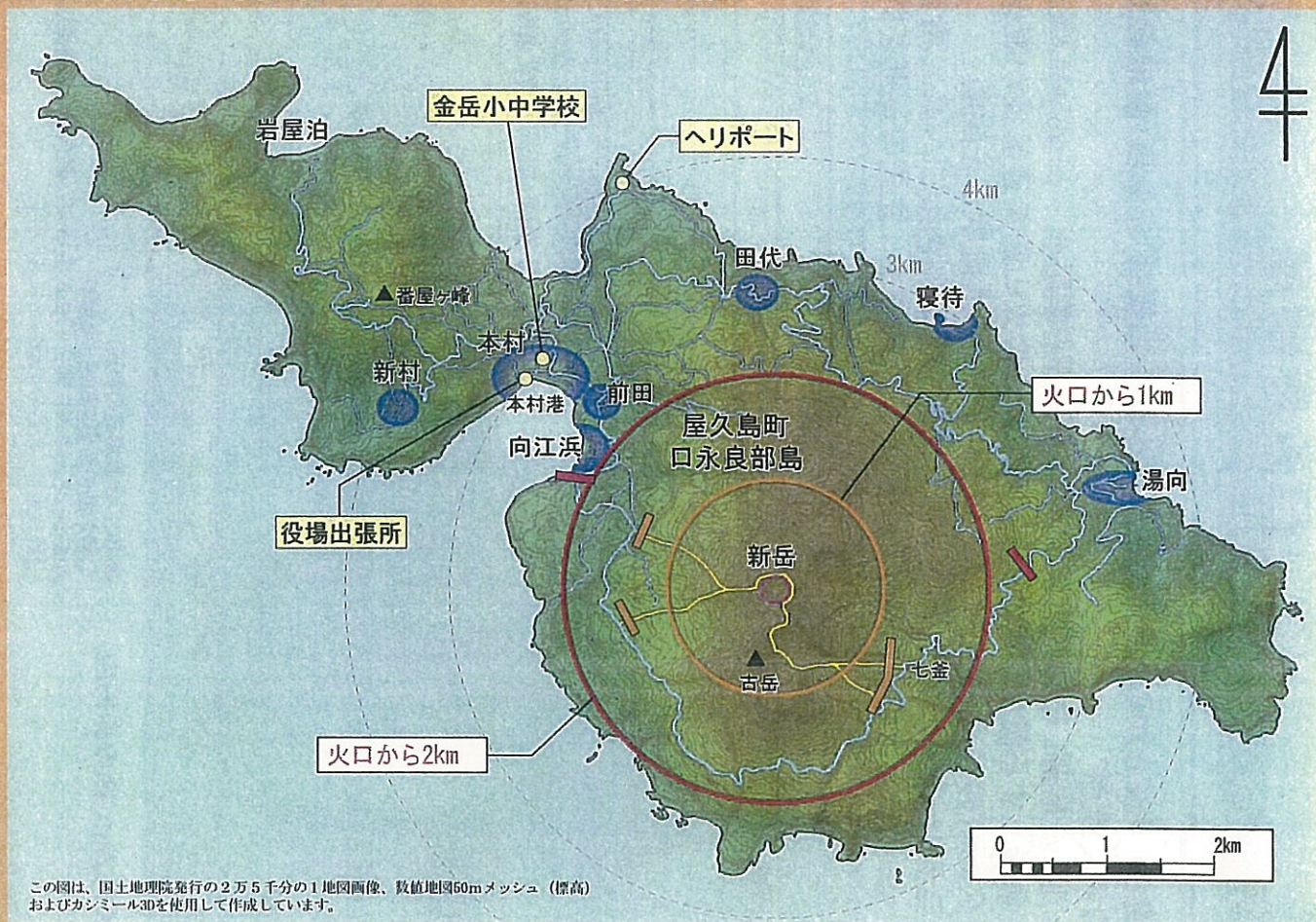
噴火警報等で発表する 噴火警戒レベル

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）。
- 対象となる火山が噴火警戒レベルのどの段階にあるかは、噴火警報等でお伝えします。



口永良部島 南側上空から撮影 第十管区海上保安部の協力による

■口永良部島 噴火警戒レベルに対応した規制範囲



この図は、国土地理院発行の2万5千分の1地図画像、数値地図50mメッシュ（標高）およびカシミール3Dを使用して作成しています。

●噴火警戒レベルに応じて下記のような防災対応が必要になります。

- レベル5（避難）：危険な居住地域からの避難
- レベル4（避難準備）：警戒が必要な居住地域での避難準備。要援護者は避難等。
- レベル3（入山規制）：火口から概ね2km以内の立入禁止 ○ の範囲内
- レベル2（火口周辺規制）：火口から概ね1km以内の立入禁止 ○ の範囲内
- レベル1（活火山であることに留意）：状況に応じて火口内への立入規制等。

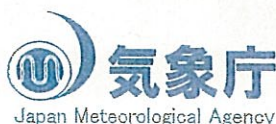
- : 一般道
- : 登山道
- : 新岳火口
- : 居住区域
- : レベル3の規制箇所
- : レベル2の規制箇所

■この図は口永良部島防災情報図（鹿児島県地域防災計画）を元に屋久島町等と調整して作成しています。

■各レベルにおける具体的な規制範囲等については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については屋久島町にお問い合わせください。



本冊子は、FSC認証紙および植物油インクを使用しています。



問い合わせ先 福岡管区気象台火山監視・情報センター
TEL:092-725-3606 <http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>
鹿児島地方気象台 観測予報課 TEL: 099-250-9916
<http://www.jma-net.go.jp/kagoshima/>

口永良部島の噴火警戒レベル

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山 者・入山者等への対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●噴火が発生し、噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達、あるいはそのような噴火の発生が切迫している。 過去事例 1966年11月：噴石が火口から約3.5kmまで飛散
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。	●噴火が拡大し、噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達することが予想される。 過去事例 1931年4月：新岳火口から約2kmまで噴石飛散 1841年8月：新岳火口から約2kmまで噴石飛散
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。	●噴石が火口から概ね2km以内に飛散、あるいは小噴火の拡大等により飛散が予想される。 過去事例 1968年12月～1969年3月：噴石飛散 1945年11月、1933年12月：新岳で割れ目噴火、火口から約1.9kmまで噴石飛散
	火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。	●小噴火が発生し、火口から概ね1km以内に噴石飛散。 1980年9月の噴火事例 新岳で割れ目噴火、火口から約700mまで噴石飛散 ●小噴火の発生が予想される。 過去事例 2006年9月の山体膨張 1996年3月、1999年8月、2000年1月、2003年2～4月の火山性地震増加 1932年7月：噴煙活動活発化
噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。	●火山活動は静穏、状況により火口内に影響する程度の噴出の可能性あり。 過去事例 2003年11月～2004年1月の状態

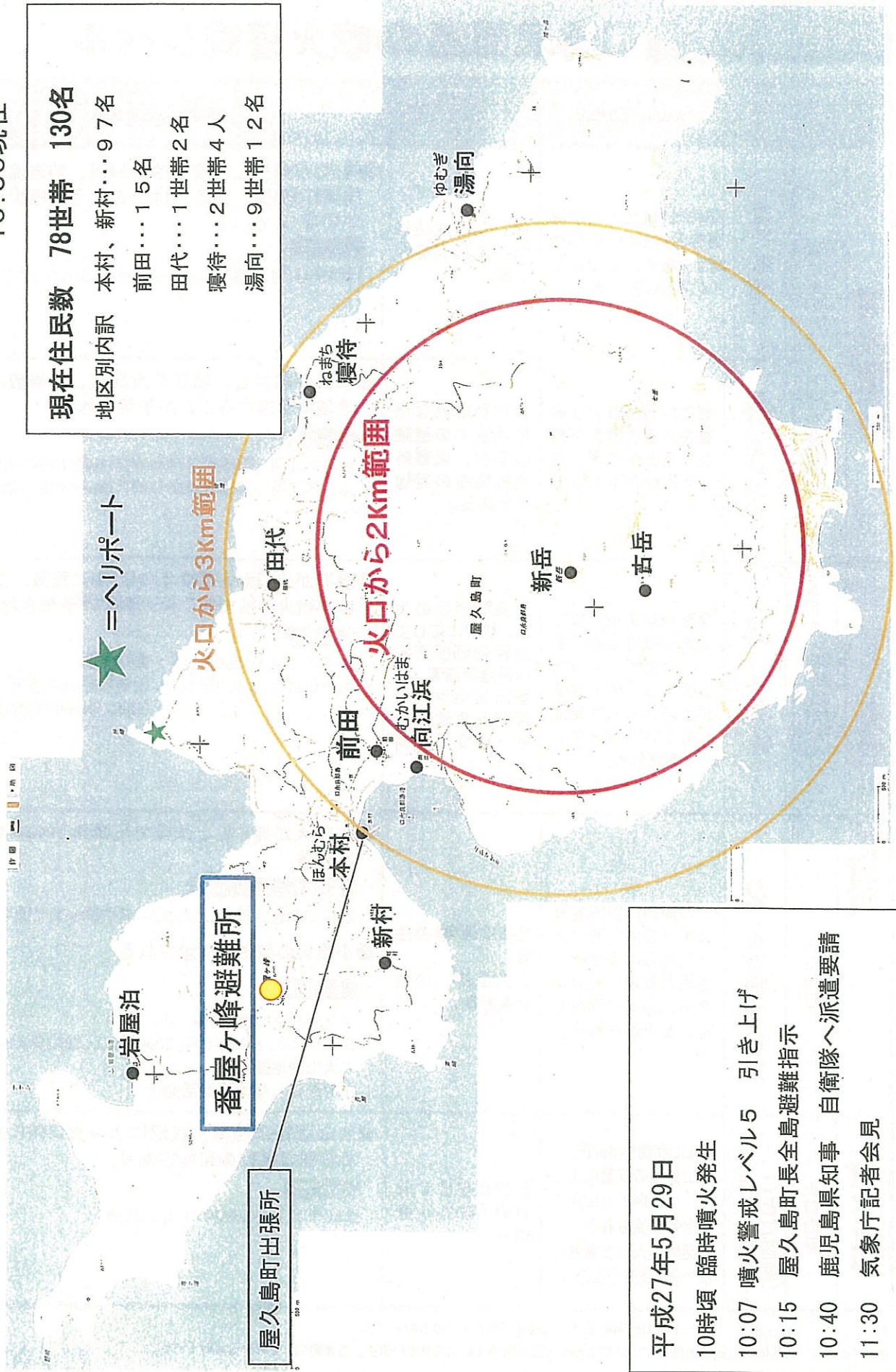
注) ここでいう噴石とは、主として風の影響を受けずに飛散する大きさのものとす。

各レベルにおける具体的な規制範囲等については地域防災計画等で定められています。各市町村にお問い合わせください。

■最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧になれます。
<http://www.jma.go.jp/jp/volcano/>

口永良部島

平成27年5月29日
10:50現在



現在住民数 78世帯 130名

地区別内訳 本村、新村…97名

前田…15名

田代…1世帯2名

寝待…2世帯4人

湯向…9世帯12名

★ = ヘリポート

火口から3km範囲

火口から2km範囲

番屋ヶ峰避難所

屋久島町出張所

平成27年5月29日

10時頃 臨時噴火発生

10:07 噴火警戒レベル5 引き上げ

10:15 屋久島町長全島避難指示

10:40 鹿児島県知事 自衛隊へ派遣要請



11:30 気象庁記者会見

気象の状況

気象庁 平成27年29日10:30



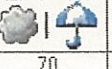

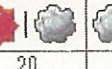








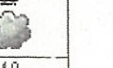
■屋久島町を対象とした警報・注意報
なし

■天気予報 ()

種子島地方・屋久島地方		地域時系列予報へ	降水確率		気温予報	
今日29日 	北東の風 後 東の風 くもり 昼過ぎ から 晴れ 所により 朝 まで 雨 波 2メートル 後 1.5メートル	00-06 06-12 12-18 18-24	—%	種子島	日中の最高 25度	
			10%			
			10%			
			0%			
明日30日 	南東の風 後 南の風 くもり 夜 雨 所により 雷 を伴う 波 1.5メートル 後 1メートル	00-06 06-12 12-18 18-24	0%	種子島	朝の最低 日中の最高 19度 26度	
			10%			
			30%			
			50%			

■週間天気予報

5月29日5時 鹿児島県の週間天気予報

日付		29 金	30 土	31 日	1 月	2 火	3 水	4 木
鹿児島県(奄美地方除く) 府県天気予報へ		晴のち曇 	曇のち雨 	曇時々雨 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇一時雨 
降水確率(%)		-/0/10/20	10/20/50/60	70	20	20	30	50
信頼度		/	/	A	A	A	C	C
鹿児島	最高(°C)	28	27	27 (25~28)	29 (26~31)	29 (26~32)	28 (26~30)	27 (25~28)
	最低(°C)	/	20	21 (20~23)	20 (19~22)	20 (18~22)	21 (19~22)	21 (20~23)
奄美地方 府県天気予報へ		曇時々晴 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇 
降水確率(%)		-/20/10/20	20/40/50/30	60	30	30	30	40
信頼度		/	/	C	C	B	B	C
名瀬	最高(°C)	27	28	30 (27~33)	29 (26~31)	30 (27~32)	30 (28~32)	31 (27~33)
	最低(°C)	/	23	23 (21~24)	22 (20~24)	23 (21~25)	23 (21~25)	24 (21~25)
平年値	降水量の合計			最高最低気温				
鹿児島	平年並 24 - 69mm			最低気温	最高気温			
名瀬	平年並 50 - 106mm			18.8 °C	26.5 °C			
				20.9 °C	26.9 °C			

